

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

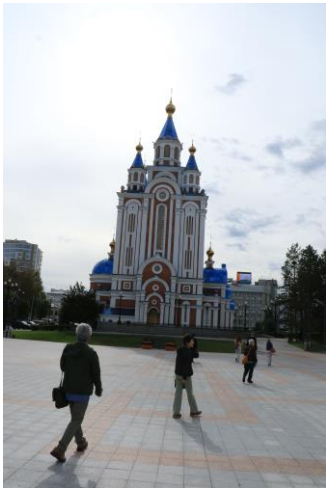
伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>
 指定管理者 旭ビル管理株式会社

「倉吉の伝統工芸を通じた国際交流」

今年の夏は暑かったですね。平均気温、最高気温、日照時間全てで昨年を大きく上回っています。

さて先日、倉吉緋の展覧会準備と開会式でのためにロシア・ハバロフスク市に行ってきました。ロシアの9月は黄金の季節といい、暑くもなく寒くもなく観光にはもってこいの季節だそうです。倉吉緋展の開会式ではハバロフスク地方政府文化局長、在ハバロフスク日本国総領事、鳥取県、ロシア外務省、倉吉緋からは福井先生など豪華な顔ぶれでご挨拶がありました。当施設からは倉吉緋展覧会開催の感謝と倉吉市来訪へのお誘いの倉吉市長メッセージをご披露させていただきました。10月にも16名のメンバーが再度訪問し、ハバロフスクで織物体験や草木染めなどで交流し、閉会式に出席します。緋が縁で始まった倉吉市とハバロフスク市との友好交流が今後広がっていく事を願いたいと思います。



ウスペンスキー大聖堂は19世紀に建設された。ソ連時代の宗教弾圧により破壊されたがソ連崩壊後再建された。

受講生募集

※申し込みは、10月4日（火）から先着順にて受け付け、定員になりしだい締め切ります。

※各教室とも、受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
Café 風ごはんでlunch! 「ハンバーガー他」 管理栄養士 小田 秀さん	10月15日（土） 10：00～13：00	1回	24名	550円

10月の休館日



10 OCT	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

第8回 伯耆しあわせの郷まつり

2016. 10/23 (日) 10:00~15:00

○ 展示コーナー ○

☆ 教室受講生の作品を一堂に展示 ☆

- ◇書道教室
- ◇写真教室
- ◇仏像彫刻教室
- ◇関金陶芸教室
- ◇文芸教室
- ◇マレボジャ韓国語教室
- ◇絵画教室
- ◇レザークラフト教室
- ◇和布細工教室
- ◇陶芸教室
- ◇英会話教室



○ ものづくり&遊びのコーナー ○

- ◇七宝焼のキーホルダーを作ろう!
- ◇ペットボトルロケットを作ろう!
- ◇プラレールで遊ぼう!
- ◇ペットボトルロケットを飛ばそう!
- ◇昔懐かしい駄菓子屋さん

○ ステージイベント ○

- ◇ 保育園演技
- ◇ 民踊
- ◇ 太極拳演武
- ◇ ハワイアンフラ
- ◇ ベリーダンス
- ◇ まるやまかよこミニライブ



○ 屋台グルメ ○

- ◇ 韓国料理
- ◇ 日本料理
- ◇ ハンバーガー・シフォンケーキ他
- ◇ 焼きそば・フランクフルト他



○ 体験&販売コーナー ○

- ◇小笠原流煎茶お茶席
- ◇竹細工体験&作品販売
- ◇日本画ワークショップ
- ◇きもの着付け体験
- ◇陶芸絵付け体験
- ◇パッチワーク小物づくり体験
- ◇倉吉絣織り体験&作品販売
- ◇フラワーアレンジメント体験



☆各コーナーで作品の展示もしています☆

第28回エスポワール展を開催しました。



9月3日~23日まで、絵画教室生徒さんの作品展を開催しました。教室で作成した人物画や、静物画など力作30点を展示し、多くの方に観賞して頂きました。



第60回鳥取県美術展覧会(県展)に教室受講生が入選されました。

県展に入選された受講生の方々をご紹介します。

- 【受賞候補作品】写真の部 井上英明さん
 【入選者】洋画の部 市場富士枝さん
 工芸の部 森岡正子さん(木綿紜)
 写真の部 中村武さん

倉吉会場 倉吉博物館
 前期 11月12日(土)~11月18日(金)
 後期 11月22日(火)~11月28日(火)

ご案内 仏像彫刻第19回作品展が開催されます。

仏像彫刻講師 仲倉裕朋さんと、受講生有志グループ「朋友会」による仏像彫刻展が開催されます。

コミュニティプラザ百花堂
 10月13日(木)~18日(火)
 午前10時~午後6時
 (最終日は午後4時まで)



イベント情報

第21回伯耆しあわせの郷ペタンク大会 <第3回国際交流ペタンク大会>

- ◇日時 平成28年11月3日(木)
午前9時30分開会
- ◇場所 伯耆しあわせの郷ゲートボール場
- ◇主催 伯耆しあわせの郷指定管理者
旭ビル管理株式会社
- ◇協力 倉吉市老人クラブ連合会
鳥取県ペタンク協会中部地区
鳥取県国際交流財団



●ハバロフスクへ出発

ハバロフスク市はロシア極東地方の中心都市で人口は約60万人、大河アムール川中流域に17世紀にハバロフによって開かれた。日本とは成田空港から週2便火曜日と日曜日に定期航路が開設されている。所要時間はおよそ2時間半で到着する。ロシアというと敷居が高く感じられるが、ウラジオと並びヨーロッパの雰囲気を感じられる日本から最も近い都市である。市内はロシア帝政時代の建物も残っており、街並みがとても美しい。

●「倉吉緋」の文化交流事業として

この度の訪問の目的は文化交流である。倉吉市の伝統工芸である「倉吉緋」の展示会を国立極東美術館にて1ヶ月間開催し、開会式と閉会式を前後して併催のメンバー合計31名がロシア国民と交流する。鳥取県がハバロフスクとの友好交流協定を締結したのが5年前、ハバロフスクでの交流事業は2年ぶりという事であった。

●地方政府・ハバロフスク日本国総領事館・日本センターとは

地方政府への表敬訪問を実施し、日本国総領事館では夕食会に招待され大変な歓待を受けた。総領事館の業務はビザの発給業務の他、文化交流が主な業務と聞いた。日本センターは1991年ソ連崩壊後、脅威を取り除き再び共産国家に戻らないようにと資本主義の市場シテムなどを教え経済交流するためにロシア国内6か所に設置された。ハバロフスクの日本センターでは多くのロシア青年が日本語を学び日本から経済関連の講師を招いて研修を受けていると聞いた。

●鳥取県サポーターについて

鳥取県では、ロシア極東の友好交流関係にある極東地方の青少年を鳥取県に招いて鳥取県サポーター養成事業を行っている。ハバロフスクには約10名のサポーターがいて、この度の訪問に際し現地の人との通訳を担当してくれた。ハバロフスクのサポーターは大学教授、大学生、旅行会社のスタッフなどの優秀な人ばかりで、この人たちの存在なくしてこの度の事業は成り立たなかったといっても過言でない。

●マスメディアや人々の反応

ロシアとの文化交流事業に日本人が来ているという事でテレビ局2社から取材を受け各社3分程度の放送を毎日1時間ごとにニュースで放送された。新聞や雑誌も10社以上来場して取材を行い関心の高さをうかがわせた。また「機織り体験」「着物着付け体験」「草木染体験」「折り紙体験」を通じて来館者と交流した。美しいロシアの女性や男性が緋の着物を着るととてもよく似合い写真を撮ってプレゼントすると大変喜んでくれた。1日中館内に留まり体験を楽しんだ人も多かった。

●日露関係の今後

今、日本とロシアは急速に接近している難しい問題を解決し、より確かな関係を築くことが出来ることを願っている。もし、この度の訪問がその一助になれば幸いである。



編集後記

だんだん涼しい風が吹くようになり、秋らしい気候になってきました。秋といえば読書の秋。推理小説が好きでよく読むのですが、調べてみると10月7日はミステリー記念日だそうです。その由来となった作家の1841年に発表された世界初の推理小説といわれる作品を読んでみました。少し導入部分長いと感じながら読み始めましたが、話が進んでいくとどんどん引き込まれていき、まさかの犯人と真相で、短編でしたがとても楽しめました。やっぱり推理小説の真相が分かっていく時のわくわく感はとても魅力的です。最近読書ペースが落ちていましたがまた復活しそうです。そして秋といえばもうひとつ。今月は「第8回伯耆しあわせの郷まつり」が開催されます。紙面でも紹介していますが、様々な催しがありますのでぜひご来場ください。

